

日時	平成 27 年 11 月 11 日(水) 11:35～12:35
派遣先	千葉県立千葉高等学校, SSH
活動内容 生徒数：20 名	<p><b>11:35 ごろ</b> 化学室にて太田先生より本日の概要の説明を受ける。</p> <p>化学、物理、生物、地学、数学の 5 教室に分かれてそれぞれの課題研究を進めるとのことだった。</p> <p><b>11:45～12:35</b></p> <p>留学生は自分の興味がある分野を中心に各教室を回り、生徒たちの活動に関して質問をしていた。生徒の中には、自分の研究に関して先生からの即興のリクエストを受け、簡易プレゼンをする者や、実験装置を見せる者もあり、留学生にとってはうれしい状況であった。研究に関する専門的アドバイスは見込めなかったが、英語でのコミュニケーションの一端は担えたのではないと言えるだろう。</p>
派遣先教員 コメント	 <p>留学生に話しかけてもらい、英語を話す機会を設けることができました。自分たちの実験を英語で説明したり、留学生の質問に英語で答える機会をもてたことがとても重要だったと感じました。</p>
留学生 コメント	I would feel Japanese student's eagerness of learning and had a great talk with them. But I think the time was just a little short. I wanted to talk with them more and know each other.
学生リーダー コメント	急な受け入れだったためか、生徒が英語で話すことに対して準備しておらず、その場でということだったが、なんとか知っている単語やジェスチャーで伝えようとしていて、かえって良かったかもしれない。留学生が自分のすることを把握したのが当日その場だったというところが少し気になった。(プレゼンの準備をしていた?)